

## 大同、オムロン快勝！ 大崎－湧永は引き分けに

### ～第33回日本ハンドボールリーグ開幕！～

第33回日本ハンドボールリーグが熱戦の火ぶたを切った。第1週は9月6、7日に神奈川などで男子5試合、女子3試合が行われ、V4を狙う男子・大同特殊鋼と女子・オムロンが快勝した一方、北海道での大崎電気－湧永製薬が引き分けとなるなど熱戦が相次いだ。

男女とも前回の上位4強が激突した第1週。シーズン開幕戦となった沖縄での女子・ソニーセミコンダクタ九州－北國銀行は、前半11－9とリードして折り返したソニーが、後半立ち上がり北國・宮前の退場をきっかけに4連打で突き放しにかかるが、北國も10分過ぎからGK田代の好セーブからの速攻などで8点を連取、21分19－17と形勢を逆転した。終盤は両GKの好守の応酬で加点することができず、結局は堅い守りからの速攻で優位をキープした北國が勝利を握った。

神奈川のオムロン－広島メイプルレッズは、東濱、佐久川の連続速攻などで開始2分3－0としたオムロンに対し、広島も菅野のカットイン、植垣の7mスローなどで7分4－4と追いついた。その後、オムロンは洪、東濱のロング、カットインで波に乗り、安齋のカットインなどで反撃する広島に17－12と5点差をつけて前半終了。オムロンは後半も東濱、城内らで快調に加点、8分過ぎには広島の連続退場に乗じた吉田の7mスローなどでさらに点差を広げた。その後、広島は土屋、李らで必死に追撃したが、オムロン・GK藤間の好セーブに苦しめられて勝機を見出せなかった。

男子では大同が力強い攻守でトヨタ車体を圧倒した。李のカットイン、末松の7mスローで先行した大同に対し、車体も門山、香川、藤田で4連取して4－2と逆転成功。その後、一進一退の攻防が続き、13分6－6となったところで大同が白を投入すると、試合の流れはガラリと一変した。大同は残り13分からの白の5得点、そしてGK高木の4連続7mTシャットアウトでリズムに乗り、16－8とリードして前半終了。後半も大同の勢いは止まらず、武田、岸川らで加点。車体も高智、鶴谷らで粘るが大同の鉄壁のDFを崩せず、32－20と予想外の大差で大同に軍配が上がった。

初の札幌開催は2000人をゆうに超える観衆で大盛況。ファンお目当の大崎－湧永戦はスピードあふれるプレー、気迫のこもったスリリングな攻防に大いにスタンドが沸いた。前半はポスト武藤を中心とした攻撃が光る湧永に対し、大崎もエース宮崎が速攻、ロングで6得点を奪う活躍などで互角の展開。湧永1点リードで迎えた後半も一進一退が続いた。試合が動いたのは9分18－18の場面で、湧永・武藤の失格に乗じてペースアップした大崎が15分23－19とリード。これで大崎が流れをつかんだかに見えたが、湧永も負けじと古家、東らでしぶとく追撃、残り1分に古家の一打で同点とし、そのままタイムアップとなった。(2ページに続く)



F・kuroda/Team47

開幕戦を勝利で飾った④大同特殊鋼・岸川  
⑤北國銀行・小野澤

### 第2週の日程

9月13日(土)	埼玉・和光市総合体育館(東武東上線と光市駅徒歩15分)	14:00～(男)	大崎電気 × 琉球コラソン
	広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～(女)	広島メイプルレッズ × 北國銀行
	佐賀・神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	14:00～(男)	トヨタ紡織九州 × 大同特殊鋼
9月14日(日)	愛知・ウィングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩20分)	13:00～(男)	豊田合成 × Honda
	広島・湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅10分)	15:00～(男)	トヨタ車体 × トヨタ自動車
	熊本・熊本県立総合体育館(JR鹿児島本線熊本駅徒歩5分)	14:00～(女)	湧永製薬 × 北陸電力
9月15日(月)	岐阜・岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム(JR岐阜駅・名鉄岐阜駅バス20分)	14:00～(女)	オムロン × HC名古屋
			三重バイオレットアイリス × ソニーセミコンダクタ九州

F・kuroda/Team47



地元でデビュー戦に臨んだ琉球コラソン・高田

## 好ゲーム続出！ 琉球は地元デビュー飾れず

そのほかの4試合も開幕戦にふさわしい好ゲームとなった。沖縄デビューで注目の琉球コラソンはトヨタ自動車に挑戦。内山の記念すべき得点で先制した琉球は、サイドを中心にスピードある攻撃と積極的なDFで自動車のミスを誘い、19分13-11と先行。しかし、自動車もGK稲本が好セーブを連発して立て直しを図り、一進一退となった後半もジリジリと追いつけた。疲れの見た琉球は24分45秒、自動車の先行を許してから再逆転することはできず、ホーム開幕初勝利には至らなかった。

北海道の北陸電力-豊田合成は、山原の連続得点などで前半17-15で折り返した北電が、後半もパワープレーチャンスを活かして15分25-21とリード。その後も杉山、前田を中心とした攻撃で中村らで粘る合成の反撃を退けた。三重のHonda-トヨタ紡織九州は、後半開始20秒、Honda・野島のカットインで同点に追いつかれた紡織だったが、その後は果敢な3-2-1 DFでHondaのミスを誘い、村上秀、村上直らの活躍で20分過ぎには7点リードを奪った。Hondaも終盤に入って柳本、竹田らで2点差まで急迫して会場を沸かせたが一步及ばなかった。

女子は、HC名古屋に前半1点リードを許した三重バイオレットアイリスが、後半に入って桂のポスト、伊藤のロング、伏見の7mスローで3点連取して逆転すると、その後も横川らで着実に加点、エース佐藤のシュートなどで食い下がる名古屋を突き放した。

次週も埼玉などで8試合が組まれ、順当に白星発進した大同は紡織、オムロンは名古屋の挑戦を受ける。開幕戦を引き分けた大崎は琉球、湧永も北電相手に初勝利が濃厚だ。初戦を落とした合成、女子・広島もホームの利を活かして勝機を見出したいところだ。

### ◆ 9月6日(土) 女子 神奈川・横浜文化体育館

オムロン	31 (17-12)	広島メイプル	22 (14-10)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
<0/1> K 勝田	堂面 K <0/5>		
5/5 城内	土屋 2/3		
1/1 安心院	樹山 0/4		
1/1 巻	大前 0/0		
0/0 西本	植垣 1/12 2/2		
4/4 0/1 吉田祥	李 6/12 2/2		
1/4 藤井	菅野 4/9		
7/10 佐久川	坪井 1/1		
0/0 坂元	伊藤 0/1		
0/2 久野	坂口 0/0		
6/10 洪廷昊	亟々 K		
<0/3> K 藤間	安齋 3/3		
0/0 高田	石山 1/1		
5/12 東濱	新城 0/0		

5/5 26/46 11(FPP)7 18/46 4/4  
審判(福田・富田) 観客 830人

### ◆ 9月6日(土) 男子 神奈川・横浜文化体育館

大同特殊鋼	32 (16-8)	トヨタ車体	20 (16-12)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
1/3 松林	木下 K <0/1>		
2/2 5/9 末松	田中 1/2 0/1		
2/2 富田	佐々木 1/1		
0/1 地引	高智 2/7 0/1		
3/8 武田	野村 0/2 0/1		
3/3 岸川	藤田 5/8		
<4/4> K 高木	北出 0/1		
4/8 李才佑	田平 K <0/3>		
2/2 千々波	小沢 0/0 1/1		
1/1 山城	長谷川 0/0		
<1/4> K 東	鶴谷 2/5		
1/1 4/7 白元喆	香川 1/3 2/4		
2/6 松永	崎前 0/1		
1/1 渡久川	門山 5/11		

4/4 28/51 11(FPP)7 17/41 3/8  
審判(黒木秀・黒木龍) 観客 1250人

### ◆ 9月6日(土) 女子 沖縄・浦添市民体育館

北國銀行	23 (9-11)	ソニーセミコンダクタ九州	21 (14-10)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
<0/2> K 下地	中島 K <0/1>		
5/5 3/12 上町	郭惠静 3/14 1/1		
3/5 宮前	工藤 6/7		
0/0 川井	亀山 2/5		
0/3 小野澤	高栖 0/1		
5/6 横嶋	飛田 K <0/4>		
1/5 野路良	樋口 2/6 3/3		
2/10 武井	佐師 0/0		
<1/3> K 田代	飯田 0/0		
1/7 仲宗根	南 K		
1/1 野路里	東 0/1 1/1		
<0/1> K 大澤	和田 0/0		
0/0 八十島	川口 0/0		
2/2 若松	金城 3/8 0/1		

5/5 18/51 9(FPP)5 16/42 5/6  
審判(家永・福島) 観客 640人

USAKI  
USUI\*

## 大崎電気

### 若手中心のチーム編成で勝負！

大崎電気ハンドボールはチーム創部以来、日本リーグ1回、全日本総合9回、全日本実業団に不滅の10連覇を含む14回、国民体育大会にも16回の優勝を飾るなど、実業団チームの“草分け”として常に日本ハンドボール界をリードし、創世記から10年余りは「全日本イコール大崎」といわれるほどの黄金時代を築きました。創部から47年が過ぎ、日本リーグチームの中で最も古い歴史を持ちながらも、不変のチャレンジ精神で、さらに新しい伝統づくりに邁進していく決意に変わりありません。

新キャプテン猪妻、副キャプテン宮崎と今年度は若手中心のチーム構成で勝負します。

また、日本代表へ3名(永島、宮崎、猪妻)、日本代表

候補に5名(東(ひがし)、内田、酒井、岩永、望月)、中堅、若手の台頭でバランスのよい布陣が形成され、「走るチーム」をベースにしたスピードプレーを展開させてライバルたちに立ち向かっていきます。

日本はもちろん、世界の舞台で活躍できるチーム作りが目標です。ファンの皆様に大きな感動を持ち帰っていただ

けるよう、躍動感あふれるハンドボールをお見せしますので、絶大なる応援を宜しくお願いします。





◆ 9月6日(土) 男子  
沖縄・浦添市民体育館

トヨタ自動車	35 (16-19)	琉球コラソン	32 (19-13)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
0/0 坂口	久高	0/2	
3/4 岩田	村山	7/15	1/1
0/0 高野	棚原	0/1	
0/1 4/7 栗崎	岡田	4/4	
1/1 小林	積	0/1	
5/10 多和田	名嘉	1/2	
7/7 倉田	池田	0/1	
K 佐藤	内田	K	
0/0 澤田	水野矢	0/0	
0/0 出會	内山	4/6	
<0/2> K 稲本	田場	5/15	1/1
8/11 光増	高田	5/7	
0/0 福田	石田	K	<1/2>
1/1 6/11 山口	水野紀	4/9	

1/2 34/51 8(FPP)9 30/63 2/2  
審判(奥山・海江田) 観客 1206人

◆ 9月7日(日) 男子  
北海道・北海道立総合体育センター「きたえる」

北陸電力	29 (17-15)	豊田合成	27 (12-12)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
K 西田	大立	K	
2/5 高橋	原	0/0	
5/12 神田	大橋	6/8	2/2
4/6 落合	桶谷	2/5	
2/5 桜井	加藤	0/0	
6/9 前田	大植	0/0	
8/10 杉山	渡久山	0/0	3/3
0/0 大谷	今村	5/11	
0/0 表	中村	5/8	
0/1 2/5 山原	芳仲	0/3	
0/0 亀田	藤堂	K	<1/1>
<0/4> K 丸山	米本	2/3	
0/0 石塚	島中	2/9	
<0/1> K 有江	佐藤	0/0	

0/1 29/52 9(FPP)11 22/47 5/5  
審判(多田・中館) 観客 2180人

◆ 9月7日(日) 男子  
北海道・北海道立総合体育センター「きたえる」

大崎電気	27 (12-13)	湧永製菓	27 (15-14)
0勝1分0敗		0勝1分0敗	
K 浦和	志水	K	
1/6 前田	坂本	0/0	
2/3 中川	濱本	0/0	
2/3 永島	山中	1/2	
2/7 太田	福田	0/0	
1/1 酒井	吉田	2/2	
0/3 岩永	名嘉	1/6	
1/3 東俊介	東	3/6	4/5
<0/1> K 石原	坪根	K	<0/1>
0/1 秋山	新	4/10	
1/1 3/3 内田	武藤	5/6	
1/1 2/3 猪妻	松村	K	<0/1>
11/19 宮崎	古家	3/8	
<2/6> K 東佑三	東長濱	3/11	1/2

2/2 25/52 14(FPP)14 22/51 5/7  
審判(浜田・小笠原) 観客 2350人

◆ 9月7日(日) 女子  
三重・鈴鹿市立体育館

三重バイオレットアイリス	26 (13-14)	HC名古屋	19 (13-5)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
K 浅井	近藤	K	<1/4>
4/4 横川	池田	1/1	
4/5 桂	佐藤	6/10	
2/5 宮下	高橋瑛	1/8	
0/0 竹上	鈴木	0/1	
0/0 谷口	菅谷	2/7	0/1
1/1 北村	高橋知	2/3	
4/6 1/5 伏見	高橋玲	1/5	
2/5 橋本	家城	K	
0/0 野中	秋山	6/8	
3/5 星野	徳永	K	<1/2>
5/12 伊藤			
<1/1> K 森田			

4/6 22/42 2(FPP)3 19/43 0/1  
審判(佐々木・高原) 観客 550人

◆ 9月7日(日) 男子  
三重・鈴鹿市立体育館

トヨタ紡織九州	28 (12-11)	Honda	25 (16-14)
1勝0分0敗		0勝0分1敗	
<1/2> K 松野	中谷	0/1	
9/15 中嶋	鶴見	5/11	
0/0 西端	柳本	7/9	0/1
2/2 村上直	河瀬	2/4	
4/10 村上秀	竹田	4/7	1/1
4/8 呉相民	横地	3/6	
0/0 鶴田	伊藤	0/0	
5/10 海道	青山	0/0	
0/2 阪	吉村	K	
K 谷川	瀬元	0/0	
2/3 鈴木	瀬野	3/6	
0/1 1/1 藤山	高木	0/0	
0/0 船木	兼浦	K	<1/1>
1/7 泉原	四方	K	

0/1 28/58 8(FPP)7 24/44 1/2  
審判(池淵・檜崎) 観客 550人

## 選手・役員登録情報

## 〈男子〉

◇トヨタ車体

役員 コーチ 小沢 勝利

◇豊田合成

26 田形 勇太 1989.07.26 182 cm 112 kg

右 春日丘高

登録抹消 No.20 河島 慎吾

◇トヨタ自動車

役員 トレーナー 幕田 純

◇琉球コラソン

役員 主務 比嘉 勉

## 〈女子〉

◇三重バイオレットアイリス

1 浅井 友可里 1979.10.04 177 cm 65 kg

右 小津中→四天王寺高→立山アルミ

→広島メイプルレッズ→storhamar (ノル

ウェー)→UDSV (オランダ)

※いずれも開幕から出場可能



## 広島メイプルレッズ

## 地域に愛されながら成長を

1994年にイズミ女子ハンドボール部として発足以来、選手、監督として文字通り陣頭指揮を執り、輝かしい成績を残してくれた林五卿さんがソウル市庁チームの監督として韓国へ帰りました。代わって、男子日本リーグの中村荷役でフローターとして活躍した呉龍基氏を監督として迎え、再出発となった広島メイプルレッズです。

ここ数年優勝から遠ざかり、悔しい思いを抱えています。呉龍基監督が目指すハンドボールを、選手はどんどん吸収してきています。一つ一つのプレーを大切に、どんなボールをも無駄にしない執着心を持って、試合に挑んでもらいたいと思っています。チームの目標はなんとしても王座奪還！ 選手、スタッフ一丸となってこのシーズンに

挑みます。

新しく主将になった大前選手の速攻、植垣選手のロングシュート、菅野選手のカットイン、今期加わった李選手のプレーも見所の一つです。

多くの企業、サポーターに支えられているNPO法人ですが、地域に愛されるチームとして、これからも成長を続けて行きたいと思っています。



# 男女個人賞レース 第1週終了

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	11 点	(1試合)	1 李 キョンミン (メイプルレッズ)	8 点	(1試合)
2 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	9 点	(1試合)	1 上 町 史織 (北 國 銀 行)	8 点	(1試合)
3 大橋 隆之 (豊田合成)	8 点	(1試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	7 点	(1試合)
3 杉山 卓也 (北陸電力)	8 点	(1試合)	4 工藤 麻衣 (ソニー)	6 点	(1試合)
3 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8 点	(1試合)	4 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6 点	(1試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	8 点	(1試合)	4 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	6 点	(1試合)
7 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7 点	(1試合)	4 洪 廷 昊 (オムロン)	6 点	(1試合)
7 柳本 義文 (Honda)	7 点	(1試合)	8 城内 真紀 (オムロン)	5 点	(1試合)
7 末 松 誠 (大同特殊鋼)	7 点	(1試合)	8 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	5 点	(1試合)
7 東 慶 一 (湧永製薬)	7 点	(1試合)	8 樋口 真央 (ソニー)	5 点	(1試合)
7 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	7 点	(1試合)	8 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	5 点	(1試合)
12 前田 亮介 (北陸電力)	6 点	(1試合)	8 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	5 点	(1試合)
12 田場 裕也 (琉球コラソン)	6 点	(1試合)	8 東濱 裕子 (オムロン)	5 点	(1試合)
14 武藤 剛 (湧永製薬)	5 点	(1試合)	14 横川 恵子 (バイオレットアイリス)	4 点	(1試合)
14 高 田 匠 (琉球コラソン)	5 点	(1試合)	14 桂 裕 美子 (バイオレットアイリス)	4 点	(1試合)
14 竹田 寛明 (Honda)	5 点	(1試合)	14 吉田 祥子 (オムロン)	4 点	(1試合)
14 藤田 聖史 (トヨタ車体)	5 点	(1試合)	14 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	4 点	(1試合)
14 中村 晃己 (豊田合成)	5 点	(1試合)	14 郭 惠 静 (ソニー)	4 点	(1試合)
14 白 元 喆 (大同特殊鋼)	5 点	(1試合)			
14 多和田 裕介 (トヨタ自動車)	5 点	(1試合)			
14 海道 衛秀 (トヨタ紡織九州)	5 点	(1試合)			
14 鶴見 拓 (Honda)	5 点	(1試合)			
14 今村 彰伸 (豊田合成)	5 点	(1試合)			
14 門山 哲也 (トヨタ車体)	5 点	(1試合)			
14 神田 友和 (北陸電力)	5 点	(1試合)			

### フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	11 点	(1試合)	1 佐久川 ひとみ (オムロン)	7 点	(1試合)
2 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	9 点	(1試合)	2 工藤 麻衣 (ソニー)	6 点	(1試合)
3 杉山 卓也 (北陸電力)	8 点	(1試合)	2 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6 点	(1試合)
3 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8 点	(1試合)	2 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	6 点	(1試合)
5 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7 点	(1試合)	2 洪 廷 昊 (オムロン)	6 点	(1試合)
5 柳本 義文 (Honda)	7 点	(1試合)	2 李 キョンミン (メイプルレッズ)	6 点	(1試合)
5 村山 裕次 (琉球コラソン)	7 点	(1試合)	7 城内 真紀 (オムロン)	5 点	(1試合)
8 大橋 隆之 (豊田合成)	6 点	(1試合)	7 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	5 点	(1試合)
8 前田 亮介 (北陸電力)	6 点	(1試合)	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	5 点	(1試合)
8 山口 恭裕 (トヨタ自動車)	6 点	(1試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	5 点	(1試合)

### シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 倉田 正洋 (トヨタ自動車)	7点/ 7射 1.000	1 城内 真紀 (オムロン)	5点/ 5射 1.000
2 杉山 卓也 (北陸電力)	8点/ 10射 0.800	2 工藤 麻衣 (ソニー)	6点/ 7射 0.857
3 柳本 義文 (Honda)	7点/ 9射 0.778	3 横嶋 かおる (北 國 銀 行)	5点/ 6射 0.833
4 大橋 隆之 (豊田合成)	6点/ 8射 0.750	4 秋山 美寿々 (H C 名古屋)	6点/ 8射 0.750
5 光増 由矢 (トヨタ自動車)	8点/ 11射 0.727	5 佐久川 ひとみ (オムロン)	7点/ 10射 0.700

### 7mスロー得点賞

1 東 慶 一 (湧永製薬)	4 点	(1試合)	1 上 町 史織 (北 國 銀 行)	5 点	(1試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	3 点	(1試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	4 点	(1試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	2 点	(1試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	4 点	(1試合)
3 大橋 隆之 (豊田合成)	2 点	(1試合)	4 樋口 真央 (ソニー)	3 点	(1試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体)	2 点	(1試合)	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	2 点	(1試合)
			5 李 キョンミン (メイプルレッズ)	2 点	(1試合)

### 7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 高 木 尚 (大同特殊鋼)	4本/ 4射 1.000	1 森田 由美 (バイオレットアイリス)	1本/ 1射 1.000
1 兼浦 裕也 (Honda)	1本/ 1射 1.000	2 徳永 悦代 (H C 名古屋)	1本/ 2射 0.500
1 藤堂 聖二 (豊田合成)	1本/ 1射 1.000	3 田代 ひろみ (北 國 銀 行)	1本/ 3射 0.333
4 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	1本/ 2射 0.500	4 近藤 澄江 (H C 名古屋)	1本/ 4射 0.250
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	1本/ 2射 0.500		

# 第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第1週終了 9月7日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ自動車	トヨタ紡織九州	北陸電力	湧永製薬	大崎電気	豊田合成	琉球コラソン	Honda	トヨタ車体	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼										32 ○ 20	1	1	0	0	2	32	20	12
2	トヨタ自動車								35 ○ 32			1	1	0	0	2	35	32	3
3	トヨタ紡織九州									28 ○ 25		1	1	0	0	2	28	25	3
4	北陸電力						27 ○ 27					1	1	0	0	2	29	27	2
5	湧永製薬						27 △ 27					1	0	1	0	1	27	27	0
5	大崎電気					27 △ 27						1	0	1	0	1	27	27	0
7	豊田合成				27 ● 29							1	0	0	1	0	27	29	-2
8	琉球コラソン		32 ● 35									1	0	0	1	0	32	35	-3
9	H o n d a			25 ● 28								1	0	0	1	0	25	28	-3
10	トヨタ車体	20 ● 32										1	0	0	1	0	20	32	-12

順位	女子	オムロン	三重バイオレットアイリス	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	HC名古屋	広島メイプルレッズ	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン						31 ○ 22	1	1	0	0	2	31	22	9
2	三重バイオレットアイリス					26 ○ 19		1	1	0	0	2	26	19	7
3	北國銀行				23 ○ 21			1	1	0	0	2	23	21	2
4	ソニーセミコンダクタ九州			21 ● 23				1	0	0	1	0	21	23	-2
5	H C 名 古 屋		19 ● 26					1	0	0	1	0	19	26	-7
6	広島メイプルレッズ	22 ● 31						1	0	0	1	0	22	31	-9

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。